
職業リハ学会通信

NO.146 2016年 6月発行

学会大会

日本職業リハビリテーション学会 第44回(京都)

第44回京都大会の内容がほぼ決まりました。

— 乞うご期待、参加の事前申し込みを—

<第7回京都大会実行委員会開催—あとは事前申し込みを待つのみ—>

6月21日、第7回京都大会実行委員会が開かれました。学会での口頭発表等の申し込みが締め切られ、発表申し込みの査読体制や分科会構成を議論しました。そのほか、当日の要項入稿体制、当日の集合体制等を議論し、ほぼ大会の準備議論は終わりとなりました。あとは皆さんの参加を待つのみです。京都は旅行者でいっぱいですが、事前の宿泊確保、そして事前参加申し込みを。

<学会本部企画も決定—大いに学び、そして議論を—>

本部企画の8月26日午前の研修基礎講座も決まりました。A「あらためて職リハの基礎を語る—連携に向けての示唆—」、B「自己理解を支援し合理的配慮を引き出すために—自己紹介書の作成を通じて—」です。いずれも基礎ですが、時期にかなったものです、大いに学べるでしょう。

学会政策員会主催ワークショップ(26日14時半から)も「改正障害者総合支援法が施行される平成30年度に向けて」と決まりました。改正法は決まりましたが具体化はこれからです、職リハという視点から今後の議論課題を探ります。ぜひ議論参加を。

<口頭発表は39本—さらに多彩な広がりをもったテーマに—>

口頭発表の事前登録は39本でした。これから査読を経て6-7の分科会で27日の午前に発表・討論が行われます。テーマでみると、精神障害、高次脳機能障害、発達障害などの障害特性に視点を当てたものが約半数ですが、がん患者、生活困窮者など職業困難者概念の広がりも出てきています。在宅就業、就労移行、A型、B型、高等部など事業の場機能に視点を当てたものも多くなってきています。さらに医療就労両立支援モデル、職場開拓、人材育成など職リハの過程、組織体制、在り方に視点を当てたものもあります。聞きたいテーマに即して時間割を作ってください、できるだけ有効に分科会を活用ください。

ポスター発表(掲示27日午前、在席発表は昼)は15本の事前登録がありました。障害の特性に着目したものは3割ぐらいで、残りは事業の場機能に着目した、しかも諸調査による分析結果が多くを占めました。活発な意見交換を期待しています。

なお自主ワークショップも事前登録が1本ありました。

大会参加事前登録申し込み期限は8月8日

改めて事前申し込みを呼びかけさせていただきます。会場は余裕たっぷりです。多くのご参加を期待しています。

第44回大会長 峰島厚（立命館大学 特任教授）

第44回学会大会のご案内	1P
第1回運営理事会 報告	2P
委員会報告	6P
ブロック活動報告	8P
投稿・施設見学報告	9P
新入会員のお知らせ	10P
事務局からのお知らせ	10P